令和９年度高志中等教育学校２学年フィールドワーク（修学旅行）
提案書作成要項

令和８年１０月３０日

新潟市立高志中等教育学校

1　修学旅行のねらい・テーマ

○よりよい社会や世界の基盤となる「平和」について考えを深め、現代社会を見つめなおし、課題をとらえなおす。

○自ら設定した研究テーマについて、他の地域の取組と比較することで新潟の課題や日本の課題などを明確にし、様々な視点から多角的に考え、理解を深めるとともに、現地フィールドワークを通して、課題研究の基礎知識や技能について実践的に学ぶ。

○全体・コース別・班別などの形態で追究型の学習を行う。現地では学習したことの意義や提案についての意見交流により学びを再構成する。

○修学旅行までの準備の過程と当日の活動を通して、互いに意見を出し合い、仲間と協力して主体的に活動する力を身につける。

○非日常的な場面での集団生活を通して、主体性・社会性・公共心を育む。

2　国内旅行での活動について

（1）「平和学習」と「他地域との比較を通して新潟の課題を明確にする」の２本柱の活動を行うため、当校がこれまで取り組んできたように、沖縄での研修を行う。具体的な活動や取組は、全体テーマおよび個人テーマについて主体的に学ぶことが可能となるよう計画していく。

①　沖縄の基地問題や沖縄戦などについて考える学習も含め「平和」を考える活動

⇒なぜ、沖縄の現在があるのか。それは自分たち（日本）とどういう関係にあるのか。

「真の平和」をメインテーマとして、「沖縄の人たちにとっての＜幸せ＞や＜平和＞」を、様々な角度から追究していく。

②　那覇市を中心とした班別活動（タクシー研修）

⇒環境や農業・食文化、人口流出などのテーマに合わせて、施設、企業、大学等訪問を行う。

③　地元の方との民泊活動

⇒沖縄の文化や風土について体験する。

④　地元企業の社長や官公庁の首長などとの交流活動

⇒課題探究の成果について交流を試みる。

3　提案書の作成

（1）様式

①A４版　横　１７部提出

②宿泊先・見学先（候補地・施設）のパンフレット等を１７部提出

（２）提出内容

①旅行の行程表（時刻・宿泊先・活動を明記する）

②代金内訳書（交通費・宿泊費・食費・入場料等・諸経費・その他の添乗料保険料等を明記する）

③各種活動（研修）のプラン・モデルコース（施設、企業、大学訪問など）

④事故防止・安全対策・保険

（３）条件

・現地までの移動手段、現地での交通手段・宿泊施設が確実に確保されていること。

・テーマに基づいた追究型の学習プランが含まれていること。

・事前学習の段階から事後学習まで、当校と協力して準備にあたれること。（現地企業へのアポ取りを含めた調整など）

・出発地から複数の添乗員が同行可能であること。

・修学旅行中の保険に加入すること。

・天候不順等での飛行機が飛ばない場合の対応が適切であること。

（４）提案のポイント　（◎は必須）

◎修学旅行のねらい・テーマにもとづき、生徒たちの課題探究活動が可能となるような活動及び取組を盛り込む。

◎過去の実績を基に、具体的にどのような方面でどのような活動ができるかを明記する。

◎交通機関は安全面・衛生面・生徒管理の面で安心して利用できるとともに、効率よく移動できる手段である。

◎ホテルは安全面・衛生面・生徒管理の面で安心して利用できる施設である。

◎感染拡大等の事情により当日の実施が困難な場合の対応が適切である。

◎添乗員は経験が豊富であり、現地の情報に精通している。

４　提案書の取扱い

（１）提案書提出後の記載内容の追加及び変更は認めない。ただし、選定作業に必要なものを選定委員会が追加提出を求めることがある。

（２）提案書は返却しない。

（３）提案書は複製する場合がある。

（４）提案書は取扱旅行社の選定以外には使用しない。

（５）提案書は新潟市情報公開条例に基づき、公表する場合がある。